

水閘門等操作員講習会を開催しました

11月25日、長井市民文化会館において、長井出張所管内の操作員さんを対象に水閘門等操作員講習会を開催しました。この講習会は、山形河川国道事務所が毎年開催しているもので、洪水被害を軽減するための操作にあたっての留意事項や樋門・樋管設備について学んでいただいています。建設事業関係功労者および新規操作員の方々の紹介、意見交換なども行い、地域の操作員さんとの交流の場ともなっています。今年では会場内にて東日本大震災についてのパネル展示も行いました。

講習会



東日本大震災パネル展



水閘門操作員とは……

河川の堤防に設置されている樋門・樋管の点検・操作を担当されている方々です。樋門・樋管は、平常時にはゲートを開けて住宅側の雨水などを河川へ排水していますが、大雨で河川の水位が上がった時はゲートを閉め、住宅側へ水が逆流するのを防ぎます。

年10回の定期点検、地震等災害時の臨時点検のほか、

河川の増水時には、昼夜問わず水位が下がるまで樋門・樋管に待機し、悪天候の中、ゲートの操作や30分ごとの水位測定を行います。

大きな洪水の際には、数日にわたり待機し続けることもあります。

長井出張所管内では、88名の操作員さんが地域の安全のため尽力されております。

